

新寺「普門院」開設

普門院住職
横山俊邦

史跡名勝の地、文知摺観音はかつて歌枕の地として知られ、奈良時代の名僧・行基菩薩により開かれた観音霊場であります。本尊は一刀三礼佛・行基菩薩自らの御作と伝えられる像高六センチの聖観世音菩薩木像で、江戸時代、火災に遭っても、奇跡的に焼け跡から発見されています。

千三百年余の歴史を伝える境内には、文知摺石の悲恋の伝説と観音信仰が中核となつて、堂塔が建立され、多くの碑が配置されました。

建築の様式、多宝塔本尊大日如来、金剛会五智如来などの仏像を観れば草創期は真言宗系寺院の配下にあつたものと思われま

す。時は移り、戦国の乱世、観音堂は荒廃しきつていきましたが、文禄四(一五九五)年、安洞院が開山されると程なく、藩主の命により別当職に任せられ、文知摺観音堂宇・境内を

保護管理することになりました。以来四百二十一年の間、安洞院三世漢補和尚は現観音堂を再建、八世光隆和尚は県重文指定の多宝塔と経蔵を建立、十四玄彰世和尚は現鐘楼堂、旧水月庵を再建、昭和初期には、財団法人を結成し、一万余坪の周辺土地を取



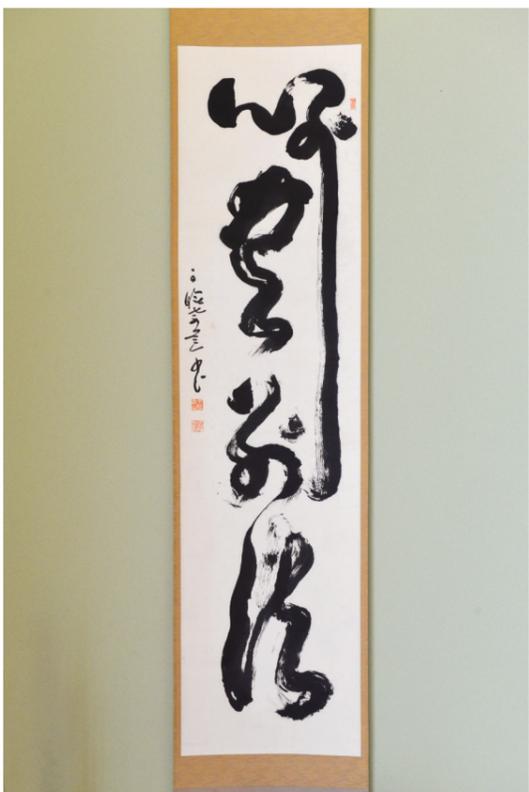
得、現在の公園を築造、中興の祖と尊称されています。更に平成に至り、資料館「傳光閣」が新設され、現水月庵も再建されています。

音を何とか独立した寺院にしたい。この悲願を永年抱き続け、ようやく今秋、宗務庁のご支援と福島県のご理解により、実現することができました。山号を文知摺山。寺号を普門院と決めました。普門という名称は「妙法蓮華経観世音菩薩普門品」別称「観音経」という経典に由来します。観音様の門は時空を越えて、普く開かれています。どこからでも、誰でも、いつでもおいでくださいという観音様のいざないの心を表しています。

普門院開山の日より、資料館を除き拝観無料といたしました。十一月紅葉の最盛期には、数千人の方が境内を訪れています。

観音信仰と悲恋の伝説。百人一首・歌枕の地・奥の細道としての文学の故郷。豊富な文化財。満山紅葉の名勝地。重層的な文化が来山者を魅了する「普門院」。今後も本寺・安洞院を支える末寺・塔頭寺院として、信者さんを中心とした、開かれた寺院を目指し精進してまいりたいと思ひます。

安洞院のお檀家の皆様には今後とも何卒変わらざるご支援、ご法愛のほどを心よりお願い申し上げます。 合掌



「心外無別法」
 大本山總持寺独住第七世眞主・秋野孝道 禪師筆

全ての現象は、それを認識する人間の心の現れであり、心とは別に存在するものではないということ。仏法といえど、例外ではなくこの心の中に現れるもの。それゆえ己を離れた遠いところに、理想となる仏法があるわけではない。他へ探しに行くものではなく、自分の中に見つけるものである。

今月の予定

▼日曜寺子屋

平成29年春まで、冬期間お休みいたします。

▼写経会

1月6日(金) 午後1時～ 於: 安洞院
 会費500円 手ぶらでもご参加いただけます。
 新年最初の写経、心も新たにご参加ください。

▼ご詠歌(曹洞宗の梅花流詠讃歌)

《練習日》
 12月15日(木) 午後2時～ 於: 安洞院
 《勤行式》
 新年最初のおつとめです。1月上旬予定。
 練習会随時見学できます。ご希望の方はどうぞ。

▼安洞院華道会

1月4日、18日(水) 午後2時～
 於: 文知摺 講師: 龍生派・桐山千峯 先生

▼ヨーガの会・レギュラークラス ※赤字の日は坐禅あり

平日昼 12/20、1/10、1/17 午前10時～
 平日夜 12/21、1/11、1/25 午後7時～
 於: 文知摺観音 申込はお寺へ 初回会費千円

おしらせ

▼お正月三賀日のお参りについて

お正月期間はしのぶ会館にてお茶と新年の御挨拶の席をご用意しております。本堂と位牌堂にお参りし、新年の無事をご本尊様とご先祖様へお祈りください。

▼東日本大震災ふくしま子ども寄附金

この寄附金は福島県の事業で、東日本大震災で親を失った子どもたちの支援や県内の子どもたちの教育事業に充てられます。安洞院では定期的な写経会の浄財やヨガイベントの収益等を集計して、来年の3月11日の慰霊法要後に県に寄附いたします。
 12/12 現在募金額 112,100円 (今年4月より)

行事のご案内

▼除夜の鐘のご案内

大晦日の除夜の鐘は普門院にて行います。二十秒に一回ずつ、元旦午前0時に百八回目の鐘が鳴り新年を迎えます。参拜の方もお一人様一回ずつ撞くことができますので年越の記念に是非ご家族でお参りください。

新年を迎えてすぐに観音堂にて元朝祈禱を行い、一年間の無事と所願成就をお祈りいたします。温かい飲み物とたき火を焚いて皆さまのお参りをお待ちしております。古い御札、破魔矢などのお焚き上げも承ります。

- ◎日時 12月31日 午後11時24分より
- ◎場所 文知摺観音・普門院 鐘楼堂
- ◎元日 午前0時より元朝祈禱



元朝祈禱のお参りで賑わう境内



たき火に当たり、一年の無病息災を祈る

Topics 1

普門院開山式法要 文知摺観音秘仏ご開帳

～安洞院の、いま～

去る10月23日(日)～29日(土)一週間の日程で33年に一度のご開帳が行われ、合わせて新寺・普門院の開山式が修行されました。晴天にも恵まれ、期間中は檀信徒はじめ地域の皆様、県内外各地からの多くの方々にお参りいただきました。

特に初日の開山式には市内一円の御寺院様がお招きし、厳粛のうちに法要が営まれ、33年に一度の秘仏ご開帳では迫力のある大般若法要が執り行われました。梅花講の皆様にもご尽力いただき、観音菩薩や文知摺観音のご詠歌のお唱えにより彩を添えていただきました。

今回は県の重要文化財である多宝塔の改修落慶のほか、期間中には滅多に見ることのできない松尾芭蕉の真蹟も美術史料館・傳光閣に展示されるなど、仏像以外にも建築や文学・歴史ファン必見の内容でもありました。

拝観料の無料化に伴い、今後は地元の学校や各種団体はじめ、多くの方々が自由に散策できる形で、新しい歴史の頁を開いて参ります。これからは観音様のお膝元へ、四季おりおりの美しい自然を楽しみにお参りください。これからの季節は来年にかけて雪景色の境内もお楽しみいただけます。



▲写真① 観音堂周辺は紅葉の見頃でした。②旅支度を整える安下処は文知摺自動車工場の羽田成一様宅から、行列が出発しました。③門前で迎える梅花講。④御寺院様に迎えられ、法要が始まります。⑤ご開帳法要の大般若祈禱。⑥普門院住職として感謝のこトバ。

Topics 2

大般若祈禱会 歳末合同供養

～ワークショップ形式のこども大般若も～

開帳から続いた秋の法要は、11月6日の大般若で一区切りとなりました。昨年は住職交代の式典・晋山結制法要のために一年おやすみをいただきましたが、今年も大勢の皆様にお参りいただき、会場を埋め尽くすほどの状況となりました。

入壇式ではこの2年の間に入壇された皆様を対象に式典が執り行われました。大般若祈禱会では初めての試みとなる「こども大般若」に多く子どもたちが、実際に経典に触れるワークショップ形式のミニ法要を体験されました。各種祈願では合格祈願が行われ、これから受験本番のシーズンを迎える受験生に住職より励ましのメッセージが送られました。

法要後は仏具(導師を迎えるための持参式の鐘一對)を寄進された浪岡清吉様に感謝状の贈呈がなされ、毎年お寺として心ばかりの支援を行っている福島市土船の児童養護施設・青葉学園の神戸園長先生よりお話をいただきました。

原体験で豊かな感情を育み、受験などの節目では見えない力に感謝することを忘れないことなど、未来を担う子どもたちを対象とした主旨のもと、歳末の精霊供養が奉修されました。

年に一度の大祈禱法要、また来年もご家族皆さままでのお参りをお待ちしております。



▲写真① 迫力あふれる大般若祈禱。各種祈願も行われました。②ご詠歌の皆様。③実際に経典に触れるワークショップ形式のこども大般若。大人の皆さまもやりたそうな様子でした…。

Topics 3

動画で観る 安洞院のご法要

～YouTubeチャンネル開設しました～

安洞院の公式 YouTube チャンネルを開設しました。YouTube ではインターネット上でパソコンやスマホ等から高画質の動画を手軽に楽しむことができます。

四季折々の境内の様子や、お盆合同供養、大般若会・歳末供養、ご開帳法要などの法要を記録しています。遠隔地や高齢でお参り出来ない方にも是非ご覧いただきたい内容です。(十分な配慮のもと編集しておりますが、削除希望等あれば承ります。)

YouTube



▲御開帳の動画も公開されています。アカウントは「antouin_pv」です。

住職雑感

大法要が続いたせいか、今年の後半は気が付けばあっという間に過ぎてしまった感があります。おかげさまで昨年10月の住職就任より一年が過ぎ、まずは最初の一年を何とか修行させていただきました。来年は東日本大震災から丸6年の七回忌。安洞院でも供養塔前にて慰霊法要を奉修する予定です。▼お寺のフェイスブックページ更新中です。季節の写真や動画、イベントの報告など随時更新しております。▼さらに、安洞院のインスタグラムを始めました。スマホから、お寺の空気を体感してください。@zen_antouin

